

## 竜馬さんの日

山口県

新保

登喜春



—「今日11月15日は何の日か知っていますか。坂本竜馬が暗殺された日です。夜の9時すぎといわれています。」

当時の日本は大変でした。幕府方と天皇方が戦っていました。それぞれどこか、アメリカやロシアやイギリスが日本を植民地にしようと狙っていました。そん

な中で坂本龍馬は、犬猿の仲であった長州藩と薩摩藩の仲を取り持って、薩長同盟を結ばせた世話人だったので。慶応2年、1866年のことです。

竜馬さんの言葉に、『今一度、日本を洗濯したく候』というのがあります。日本中が大混乱しているなかで、日本という国を洗濯しなおして新しい国にしたいという気持ちだったと思います。事実、薩長同盟の2年後に明治維新になりました。

今日11月15日、周東中学校の皆さん100人以上は、周東中学校を洗濯したのです。見違えるほどきれいになりました。今日以後、洗濯(掃除)したあとの周東中学校は変わっていきます。新しい周東中学校になっていきます。

皆さん、竜馬さんの日に掃除したことを忘れないでください。

私たちも、皆さんのお手伝いできて、とてもいい気持ちになりました。私は、竜馬さんのこの日に周東中学校で掃除したことを忘れません。私は竜馬さんが好きなので、ついつい力が入りました。こういう機会を与えて頂いてありがとうございました」

これは、ある中学校の学校行事の「掃除の会」で述べた言葉です。「竜馬さんの日」と「学校掃除の日」がたまたま重なったのでこういう感想になりました。なお「岩国掃除に学ぶ会」は、2004年に佐古利南先生を始め、私は2017年代表世話人を引き継ぎました。

(740-1425山口県岩国市宇宇町南沖1-6-30)

## ムダの多いやり方に 気づく掃除

三重県

丸田まるた  
徹とほる



「掃除道」との出会いは、ゴミブ  
リだんごの岐阜県の松岡浩様を  
訪問したのがキッカケです。松岡  
様のお誘いで、近々開催予定だっ  
た沖繩大会に参加しました。

他の参加者の雰囲気にもまれ  
て懸命に磨いたものの、便器は半

分もきれいになりません。「こう  
いうのを根性あるトイレと言うの  
ですよ」リーダーの言葉が印象  
的でした。鍵山掃除道との縁がな  
ければ、トイレ掃除をすることは  
一生なかったでしょう。

それから私は、汚いものやゴミ  
に対する感じ方が変わりました。  
頭は臆病でも、手は勇気がありま  
す。1回手を出せば、あとは平気  
になります。そして掃除の後の何  
とも言えない清々さと地元の人た  
ちの温かさなど、各地の大会で味  
わった体験は、私の心の財産にな  
りました。

掃除のおかげで、なかなか行  
けない地にも行けました。全国各  
地の掃除の会や海外大会へも参  
加しました。1938年(昭和13)  
台北で生まれた私にとって、毎年

の台湾の大会はありがたかった  
です。ブラジルにも行けました。  
ニューヨークの大会では、幼なじ  
みのロッキー青木が責任者で、何  
十年ぶりに再会しました。

鍵山氏との出会いによって、こ  
の世の中のムダの多さがわかって  
きました。自分はなんとザルで水  
をくむような経営をしてきたの  
か。

物事をこなすのに、段取り・順  
序があります。「早く物事を片付  
けたい」とか「めんどくさい」と  
いう気持ちが起こりますが、あい  
だを省いて完成できるわけがあ  
りません。鍵山掃除道は、これ  
ちゃんと順序通りやることだと思  
います。若い人に早く知ってもら  
いたいと念じています。

## 掃除をすれば幸せになれる

京都府

吉岡 よしおか

由紀 ゆき



2016年、「京都市倫理法人会」に入会して「日本を美しくする会」を知りました。京都掃除に学ぶ会の福井三千子さんがおられたからです。いつも優しく、元氣いっぱい福井さん、「掃除と倫理は両輪や。実践したら必ず幸せになれる」と、私たちに手本を見せてくださっています。

その前の私は、主人の経営する会社のサポートと子育てで目の回るように忙しく、ストレスの多い毎日でした。そんなときに左胸にしこりを見つけました。「乳癌です」という医師の告知を、ぼう然と聞いていました。

それから5年の治療の末、体は順調に回復したものの、精神のバランスを崩して「うつ」を発症しました。先が見えず、毎日が不安でなりませんでした。

そんな私を心配して、友人がしきりに「倫理法人会に誘ってくださいました。「あなたには早起きと掃除が必要な」と。そのときは意味がわかりませんでした。わらにもする思いで入会しました。

福井さんの後ろ姿を見つつ、「変わりたい」と必死で「倫理」に

添った生き方をめざしました。

京都掃除に学ぶ会の月例会で、小学校のトイレ掃除をおこなったときに、衝撃を受けました。素手で便器を磨き上げると、心の「わがまま」も一緒にきれいになった気がしました。心に元氣スイッチが入った瞬間でした。

「掃除」は簡単なようで、とても奥深いです。そして続けるのですが、仲間がいつも温かく迎えて下さるので、続けられています。「掃除をすれば幸せになれる」という意味も、少しずつわかるようになってきました。

私は昔のようにすっかり元氣になりました。「生かされている」ことに感謝し、ほがらかに生きていきたいと思っています。

(604-8426 京都府京都市中京区西ノ京船塚町10)

## 掃除は動く座禅

東京都

吉野よしの

将史まさし



私は、幼い頃両親に連れられて掃除に学ぶ会に参加していた関係で、2008年に大学生になって、自主的に京都掃除に学ぶ会・京都新洗組に参加しました。

大学2年生から大学院修了までの5年間、京都新洗組の2代目隊長を務め、就職で東京に来

てからは、渋谷新洗組で活動を続けています。

最初は嫌々だった掃除に自主的に参加するようになったのは、京都で出会った方々の人柄や温かさに触れ続けたいと思ったからです。それからだんだん掃除のやりがいも感じるようになりました。

私にとつての掃除の魅力は、一歩踏み出す勇気を鍛えられるところと、自分の素が見えてくることです。朝まだ寝ていたいと思っても、起きる。汚れたものに手を伸ばして拾う。この行動の積み重ねが、仕事で避けて通りたいようなことにもサツと取り組む勇気を鍛えてくれているように思います。

一方、「掃除をすると謙虚になれる」はずが、清掃は社会的に善

いことであるが故に、続けていると逆に傲慢になっていることがあります。「こっちは拾っているのに」、「いつも拾っているのだから」などの思いが頭をよぎります。

これらは掃除を漫然とやっている証拠で、「現状維持は退化」であると実感します。そのようなときは、日常でも自分本位になっていることが多く、仲間が排水溝を磨く姿を見たり、彼らの感想を聞いていると、自分の視野が狭いことを気づかされます。

掃除を続けようと思い、また自分の良くない状態に気がつけるのも、掃除でご縁をいただいた方々のおかげです。これからも学ばせていただきながら、自分も次の世代に鍵山掃除道の魅力を感じてもらえる生き方をしていきたいです。

人生は、

誰と出会うかで決まる

東京都

本庄 ほんじょう

燿士 ひろし



1999年、私は婦人服の店舗を7〜8店経営しておりました。社員との人間関係が上手くいかない、叱れば辞める、売上はどんどん下がる、途方に暮れていました。そんなとき、ラジオ短波主催の「経営セミナー」に興味を持ち、何かヒントをつかめないか

と参加しました。

そのときの講師は鍵山相談役でした。映像では、相談役が素手でトイレの便器に頭を突っ込み磨いていました。それを見た瞬間、私は頭を金槌で殴られたような衝撃を受けました。

上場会社の経営者といえば、偉そうにふんぞりかえっている方ばかりと思っていたので、自己と正反対の謙虚で穏やかな人柄に魅了されました。

自分がトイレ掃除を始めるまでには、時間がかかりました。売上は下げ止まらず、店舗を手放し、一旦すべてリセットしました。その後、イエローハットさんの掃除研修や街頭清掃に参加しました。掃除をする相談役は、草一本も丁寧に抜き、根元をきれい

に揃え、土にもどします。その姿に感動しました。

相談役は、「無駄があると成果をあげられない」といいます。お金の無駄、時間の無駄、一番の無駄は心の無駄、とのこと。自分分は、すべて無駄ばかりしていたことに気がつきました。

相談役は、私のような者にも丁寧に謙虚に接してくださいませ。誰に対しても同じ態度で接せられます。そのような体験がきっかけで、信念や心のあり方の大切さに気づきました。

今、掃除道で学ばせていただいたことをベースとした研修会社を設立し、掃除をたくさんの方に広めております。

(174-0063板橋区前野町1-44-14)

## 一目ぼれした掃除道

ルーマニア アルネツラ・ロッタ  
Anetia Nechita Rotta



2013年5月27日、私たちはロッタプリント社チームは、ルーマニアで鍵山氏と掃除に初めて出会いました。それは物事を改善する偉大な方法であり、一目ぼれの恋をしたようなものでした。

私たちは、企業は勿論、学校や公共の場所で、掃除を通じた改善

活動をしてきました。

2013年から2022年の10年間におこなった掃除活動は、ルーマニア改善協会と21回、企業関係は19社2300名、その他3公共機関、2大学、7教育機関、20のNGO団体などです。

さらに、2018年は日本の京都などで掃除研修をおこない、多くの日本の人々と交流して貴重な学びをしました。

掃除の良いところは、実践による継続的改善をおこなって、学校の若者を誘うことができることです。私たちは、弊社でのインターンを含めて、常に新しい学校と生徒を巻き込もうと努力しています。

直近の8年間は、クルージュナポカ市の3つの主要な学校から、千人以上の学生が掃除活動に参加

しました。彼らは、個人・社会と専門分野の両面で、掃除の意義を意識するようになります。

掃除道の主な効用は、人生のあらゆる面において、毎日前向きなライフスタイルを続けられることだろうと思います。

もう一つは、学校や公共の場所の環境を良くし、さらには自然保護をおこなうモチベーションが向上することで、公的機関とプライベート組織が、一層協力する関係ができることでしょう。

現在世界は厳しい環境にありますが、将来は明るいと確信します。日本を美しくする会30周年を祝福し、これまでの日本の皆さまのご支援に感謝申し上げます。これからもよい関係が続くことを希望します。

## 心豊かに生きていく

神奈川県

中野なかの

敏治としはる



1990年代、「ゆとり教育」といわれる教育が学校で行われました。学習内容が減らされ、隔週で土曜日が休みとなり、子どもたちに「時間的ゆとり」が生まれました。

中学校教師だった私は当時、鍵山氏から「子どもに必要なの

は、心のゆとりだ」という話を聞いたことを思い出します。大切なのは「心のゆとり、心の在り方」。

「豊か」に生きたい。誰もが思うところです。でもこの「豊か」には、人それぞれ解釈があります。本物の「豊か」とは、物的な「豊か」ではなく「心豊か」ということを、具体例をあげて教えてくださいました。

「幸せ」ということ。自分だけが「幸せ」になることはありません。みんなが「幸せ」になってこそ、自分の幸せがあります。では、どうしたらみんなが「幸せ」になれるのか、心が荒まずに生きていくのか、ずっと考えていました。千葉での掃除の帰りにご一緒したときも話をしてくださいました。時の流れとともに世の中が

変わろうと、鍵山氏からの学びは私の心の奥に沁み込んで色あせることはありません。

愚痴を言いたくなったりとき、「それで、あなたはどうしたいの？」と自分に問いかける姿が生まれてきました。まず自分がどう動くのか。私の心の動きを作ってくださいましたのも鍵山氏でした。

「すべての人が幸せに、世界中の人が幸せに」

この願いは、心の軸となっています。掃除を通じて得たたくさんの気づきから、みんなが幸せになることを実践し続けていきます。

評論家ではなく実践家でありたい。鍵山氏との出会いが私の人生を変えてくれました。

(258・0025 神奈川県足柄上郡開成町延沢86-2)

## 会社存続は掃除のおかげ

沖繩県

石川

元義



1989年、創業者の父からオフィス家具販売会社の社長指名を受けた。父は社員や業者の前で「仕方ないから(私を)社長にした」と言った。実は父は、信頼し切れ者の大番頭に社長就任を頼んだが断られていた。

そんな事があって私と大番頭

の関係は一気に悪化した。社長代行だった大番頭が、何も知らない私に反発するのは当然だった。大番頭は専務に昇格、幹部の人事は父と専務が行った結果、私は社員からの信頼も失い孤立無援となった。

その後私は、東京で鍵山相談役の講演ビデオを見て、掃除が会社を変えた事例を知った。色々な研修やアドバイスなどで現状を打破できない私は、仕方なく疑心暗鬼でトイレ掃除を始めたのが1993年10月であった。

朝5時ころから1時間半、いつでもやめられるよう内緒で始めた。2年後何の変化もないのでそろそろやめようかと思っていたら、ある日商品部長が、「社長が掃除をしていますのでトイレはきれ

いに使ってください」と公開してしまったので、やめられなくなつた。1年後彼の提案で、幹部を含む社員全員で掃除が始まった。

その後私は専務に頭を下げて協力を取り付け、固い握手をして、7年間の彼との軋轢は解消した。折りしも1995年、沖繩掃除に学ぶ会発足の年であった。その後も社員と掃除を続けた。

2006年、当社を最大の苦難がおそつた。取引先メーカーへの吸収合併への話を断り、売上、社員共に10分の1に減つたが、残った社員とガラガラの中の倉庫や敷地の掃除を続け、お陰で倉庫を借りていただく業者があり、現在に至る。わが社の存続は掃除のおかげである。

(903・014 沖繩県中頭郡西原町字兼久66)